

環境経営レポート 2020年度

(対象期間： 2020年4月1日～2021年3月31日)



2021年9月1日発行

承認	作成
依田	辰本
社長	管理責任者

未来へ伝わる・つながるIPネットワークのヒノックス

Telecommunications and Power Electronics
株式会社 ヒノックス

目次

1. 取組の対象組織	1
(1) 事業所名	1
(2) 所在地	1
(3) 代表者	1
(4) 管理責任者	1
(5) 連絡先	1
(6) 事業活動	1
(7) 事業規模	1
(8) 対象範囲	2
(9) レポートの対象期間	2
(10) レポートの発行日	2
(11) 対象組織	2
2. 経営における課題とチャンス	3
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標	5
(1) 基準値設定	5
(2) 中期目標	5
5. 環境経営計画及びそれに基づき実施した取組内容	6
6. 環境経営目標の実績	7
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
(1) 二酸化炭素排出量の削減	8
(2) 省エネルギー	9
(3) 廃棄物排出量の削減	12
(4) 水使用量の削減	13
(5) 環境対応品購入	16
(6) マテリアルバランス	17
(7) その他の取組	17
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	19
(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	19
(2) 違反、訴訟等の有無	19
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	20
10. 環境経営情報の開示	20

1. 取組の対象組織



(1) 事業所名

株式会社 ヒノックス

(2) 所在地

〒193-0835 東京都八王子市千人町2丁目12番5号

(3) 代表者

代表取締役社長 依田 享

(4) 管理責任者

環境管理責任者 辰本 靖

(5) 連絡先

TEL : 042-665-3991 (代表)

FAX : 042-665-2223

URL : <http://www.hinox.co.jp/>

(6) 事業活動（全活動）

電源機器（産業用スイッチング電源機器、インバータ電源機器等）および情報システム機器（情報伝送機器、モデム、監視装置等）の開発、設計、製造、販売、保守サービス



(7) 事業規模

年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上金額	7億6,360万円	9億1,523万円	11億5,894万円
従業員数	42名	39名	39名
床面積	1,606㎡	1,606㎡	1,606㎡

(8) 対象範囲

- ・認証登録日：2005年5月24日 認証登録番号：0000404
- ・対象範囲：1頁の(1)、(2)に記載

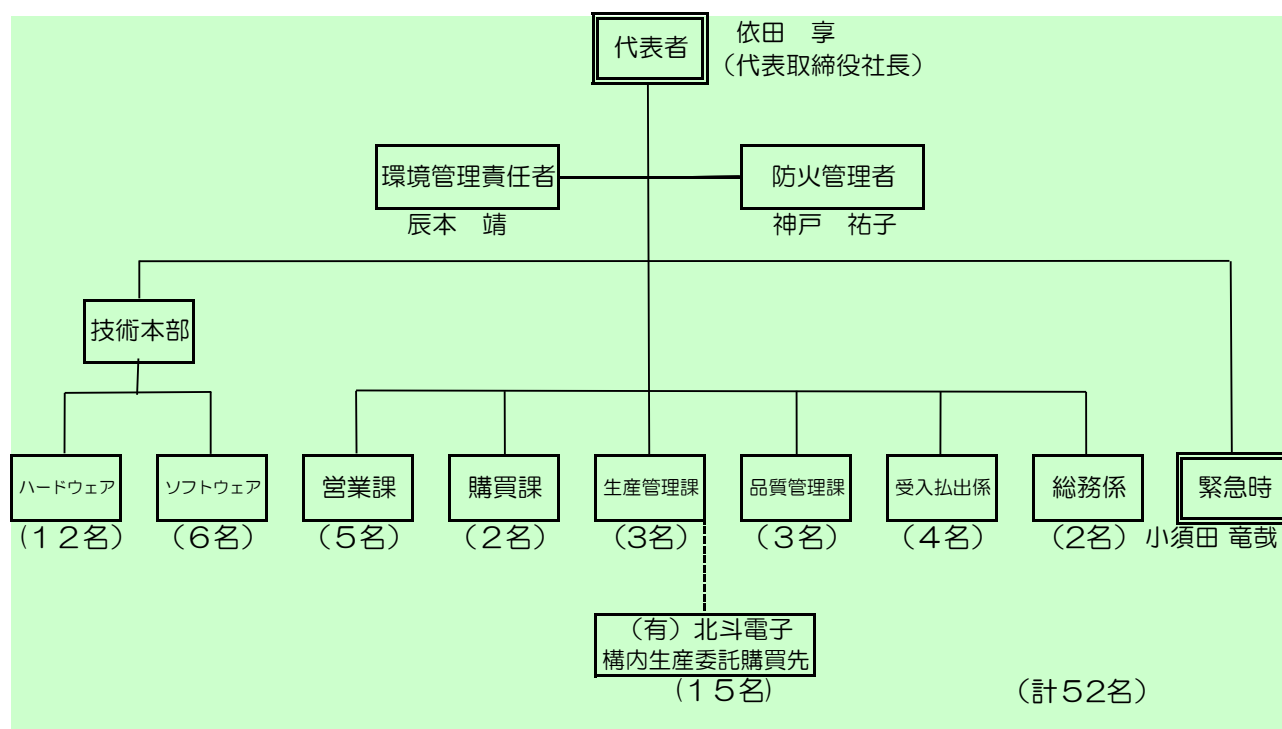
(9) レポートの対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

(10) レポートの発行日

2021年9月1日

(11) 対象組織（全組織）



氏 名	所 属	役 割
依田 享	代表取締役社長	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
小須田 竜哉	営業課	環境緊急事態対応責任者（緊急時の窓口）
辰本 靖	営業課	環境管理責任者、全体の把握・構築・運用、社長に報告
紺野 陽一郎	受入払出係	特別管理産業廃棄物管理責任者
神戸 祐子	総務係	防火管理者、環境負荷削減責任者、環境対応品購入の推進
全社員	各部門	環境経営方針・計画の理解と実施

2. 経営における課題とチャンス

・内部課題とチャンス

技術：当社として新しいテクノロジーを盛り込んだ製品を開発する。

営業：売上・付加価値目標を達成する計画を立案して実行する。

購買：継続的にコストダウンを実行する。難入品の入手を改善する方策を検討し実行する。

生産：製造検査工程の立案や実施に際して、場所や人員の確保など、他部門とも連携して柔軟な生産管理を行うようにする。

品質：生産管理課や他部門と連携して、品質の確保に注力する。

受入：部品の保管方法をさらに改善し、先入れ先出しがより確実に実行できるようにする。

総務：防災活動への対応現実的にやれることから検討し、実行する。
テレ会議が可能なteams等の導入を具体化する。

・外部課題とチャンス

技術：顧客ニーズの多様化への対応し、OEM製品や独自製品を開発する。

営業：多品種少量受注など顧客要求への対応と新市場を開拓する。

購買：市場の変化を早期に購買先から情報入手し、社内と調整を図る。
製品含有化学物質の情報伝達共通スキーム（chem SHERPA）
などを入手し顧客の要求に答える。

生産：新製品や新規部品に対応し、生産技術の向上を図る。

品質：クレームゼロを目指し、修理やオーバーホールなど柔軟に対応する。

受入：購買先の外製品は通い箱を確保し、移動中の不良を低減させる。

総務：環境に配慮した物品等の購入管理を進め、省資源、省エネの推進を図る。

3. 環境経営方針

基本理念

当社は、主に情報通信およびパワーエレクトロニクス分野におけるメーカーとして、業界に信頼されることを目指し、環境経営方針を定めて、全従業員に説明し、掲示し、周知徹底し、実行維持を誓約する。

行動指針

1. 事業活動で使用する資源やエネルギー消費量を削減する。
2. 事業活動から排出される二酸化炭素の排出量の削減及び廃棄物排出の抑制、再利用、再生利用を推進する。
3. 生物の多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な社会の構築に貢献拡大するために、地球温暖化に係わる事項を把握して温暖化防止に取り組む。
4. 環境に配慮した顧客ニーズの高い製品を開発する。
5. 環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。
6. 環境保全に関連する法規制等の遵守を誓約する。



制定日：2012年 4月 1日
改定日：2021年 6月 1日
株式会社 ヒノックス
代表取締役 依田 享

4. 環境経営目標

(1) 基準値設定（2019年度実績）

項目	基準値 (2019年度実績)
二酸化炭素排出量	97,452(kg-CO ₂)
使用電力量	199,019(kWh)
ガソリン使用量	1,342(ℓ)
オーバーホール受注台数	82(台)
廃棄物排出量	5195(kg)
水使用量	486(m ³)
コピー用紙購入量	530(kg)
梱包材購入量	3,931(kg)
環境対応品購入	購入比率85%以上

(2) 中期目標

環境目標項目				2020年度		2021年度		2022年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	前年比	総量	-1%	96,478	-1%	95,513	-1%	94,558
			削減量		-974		-965		-955
使用電力量	kWh	前年比	総量	-1%	197,029	-1%	195,059	-1%	193,108
			削減量		-1,990		-1,970		-1,951
ガソリン使用量	kg	前年比	総量	-1%	1,329	-1%	1,316	-1%	1,303
			削減量		-13		-13		-13
オーバーホール 受注台数	台数	前年比	総量	同等	84	同等	84	同等	84
			削減量						
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-1%	5,143	-1%	5,092	-1%	5,041
			削減量		-52		-51		-51
水使用量	m ³	前年比	総量	-1%	481	-1%	476	-1%	471
			削減量		-5		-5		-5
コピー用紙購入量	kg	目標値	受注 目標値	-1%	525	-1%	520	-1%	515
					-5		-5		-5
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-1%	3,892	-1%	3,853	-1%	3,814
			削減量		-39		-39		-39
環境対応品購入	円	目標値	総額	85% 以上	購入品総額	85% 以上	購入品総額	85% 以上	購入品総額

5. 環境経営計画及びそれに基づき実施した取組内容

項 目		2020年度取組内容	
1. 省エネルギー 2. 二酸化炭素排出量の削減	使用電力量	①節電の啓発および省エネ(設備の確認)	日常
		②蛍光灯のプルスイッチによる間引き、清掃	日常
		③ITツールの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)、空調の使用	夏冬
		④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用	日常
		⑤事業活動において使用する設備(未使用時オフ)	日常
		⑥設備の電気使用量確認	日常
	ガソリン使用量	①エコドライブ(急発進、急加速、アイドリングストップ)	日常
		②用途に合わせて公共交通機関の優先利用	日常
	オーバーホール	①製品のオーバーホール営業活動	日常
		②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用	日常
3. 廃棄物排出量の削減	不燃・可燃ゴミ	①分別、再徹底	日常
		②削減の推進	日常
	コピー用紙	①両面印刷、両面コピーの推進、ミスコピー防止	日常
		②裏紙の使用、電子化、ペーパーレス化	日常
	梱包材	①梱包材の見直し	日常
		②梱包材の再使用、再生利用の推進	日常
4. 水使用量の削減	水使用量	①蛇口付近に節水の表示(自動水栓)	日常
		②生活用水以外は洗車など使用を控える	日常
		③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減	日常
5. 環境対応品購入の推進	購入量	①環境対応品購入の推進	日常
		②購入品目の拡大	日常
		③コスト把握で効果を計る	日常

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標項目			2020年度目標	2020年度	
				実績	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	総量	96,478	91,601	○
		削減量(率)	-974 (-1%)	-4,877(-5.1%)	
使用電力量	kWh	総量	197,029	194,447	○
		削減量(率)	-1,990 (-1%)	-2,582(-1.3%)	
ガソリン使用量	ℓ	総量	1,329	1,181	○
		削減量(率)	-13 (-1%)	-148(-11.1%)	
オーバーホール	台数	総量	84 (同等)	97	○
		削減量(率)		+13	
廃棄物排出量	kg	総量	5,143	5,294	○
		削減量(率)	-52 (-1%)	+151(+2.9%)	
水使用量	m ³	総量	481	436	○
		削減量(率)	-5 (-1%)	-45(-9.3%)	
コピー用紙購入量	kg	総量	525	510	○
		増減	-5 (-1%)	-15(-2.9%)	
梱包材購入量	台数	総量	3,892	4,247	△
		削減量(率)	-21 (-1%)	+355(+9.1%)	
環境対応品購入	円	G購入額	購入比率 85%以上 $= \frac{\text{G購入額}}{\text{購入品総額}}$	160,200	○
		購入品総額		189,000 (84.8%)	

* 二酸化炭素の排出係数

東京電力の調整後排出係数 = 基準：2019年度 0.457(kg-CO₂/kWh)

実績：2020年度 0.457(kg-CO₂/kWh)

* 環境対応品購入の実績 ※環境対応品購入比率(%)=グリーン購入額(¥)/購入品総額(¥)

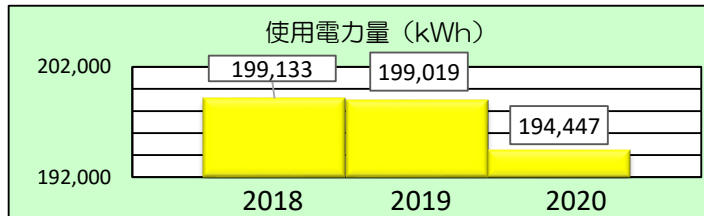
* 評価=○ 目標達成(5%以内) / 評価=△ ますます(6%~10%) / 評価=× 未達成(10%以上)

◎本年度は生産高(売上)が前年比20%増の為、梱包材の購入量と廃棄物排出量がやや増加となりました。
やはりコロナウィルスの影響で営業時間短縮や外出の機会が減り、エネルギーの使用量などが減少しました。
次年度は増加した項目はもとより、全ての項目達成に向けて努力してまいります。

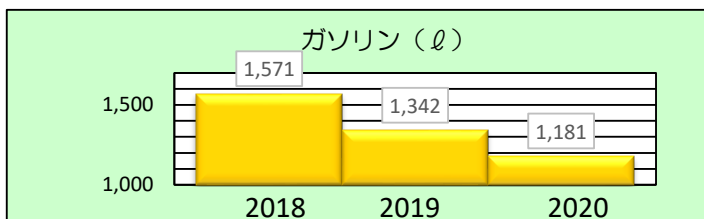
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

評価=○	目標達成
評価=△	まずまず
評価=×	未達成



使用電力量 (kwh)		
2018年度	2019年度	2020年度
199,133	199,019	194,447



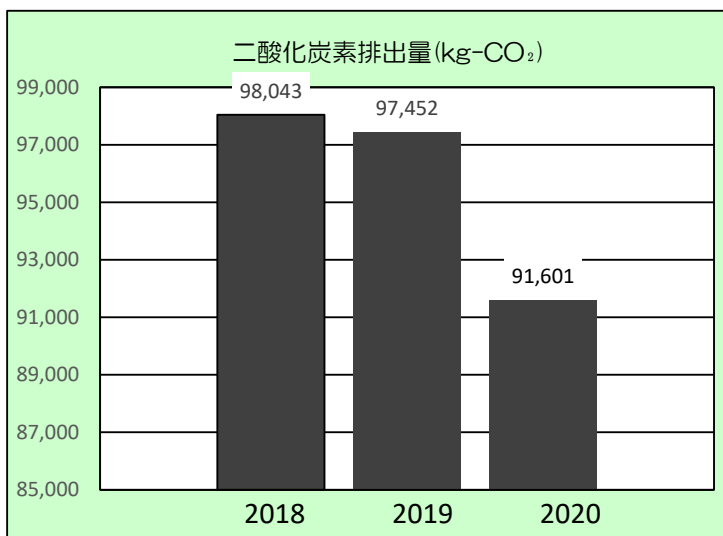
ガソリン (ℓ)		
2018年度	2019年度	2020年度
1,571	1,342	1,181

●取組結果とその評価

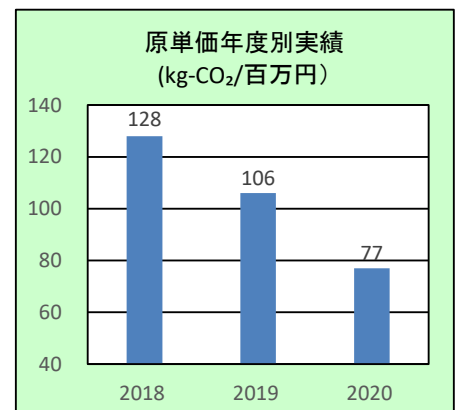
目標値	実績値
96,478	91,601

(単位: kg-CO₂)

評価=【 ○ 】 目標値より4,877kg-CO₂減少



二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		
2018年度	2019年度	2020年度
98,043	97,452	91,601



二酸化炭素の排出量は、目標値より4,877kg-CO₂減少しました。
この要因は、コロナの影響でエネルギーの使用量が減少し良い結果となりました。

●次年度の取組内容

引き続き必要なエネルギー以外の使用を控え削減いたします。

(2) 省エネルギー

◇使用電力量

- ①節電の啓発
- ②蛍光灯のプルスイッチによる間引き
- ③エアコンの設定（冷房28℃ 暖房20℃）
- ④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用
- ⑤事業活動において使用する設備（未使用時オフ）
- ⑥設備の使用電力確認



製造設備（年間使用量）

リフロー	16,433kWh
はんだ槽	1,648kWh
除湿器	24,006kWh
コンプレッサ	3,916kWh

季節設備（年間使用量）

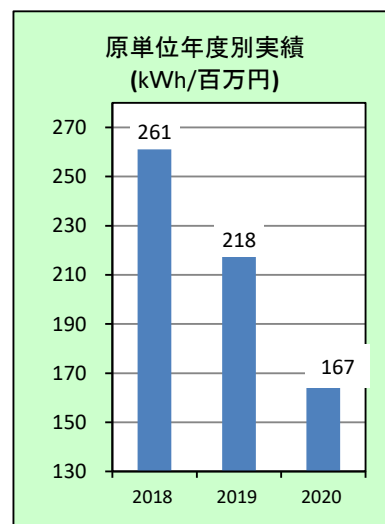
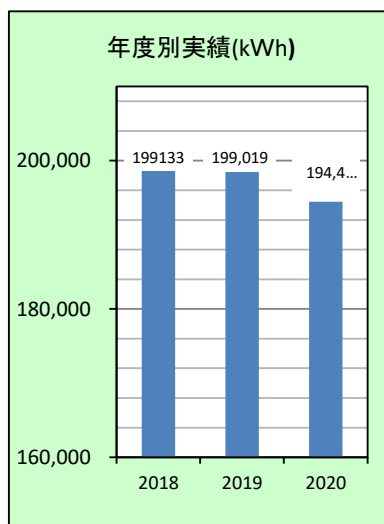
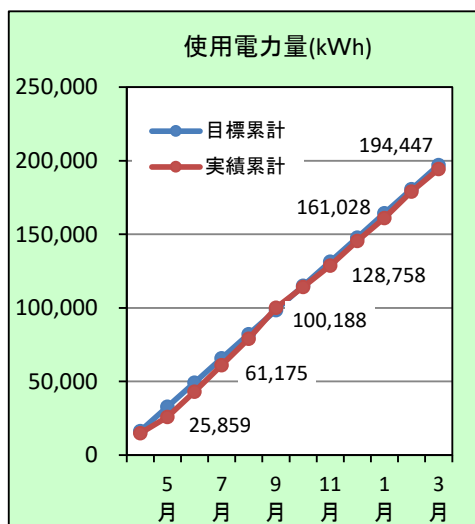
加湿器	6,643kWh
エアコン	27,823kWh
年間使用量合計	80,469kWh

●取組結果とその評価

目標値	実績値
197,029	194,447

（単位：kWh）

評価＝【 ○ 】 目標値より2,582kWh減少



使用電力量は、目標値より2,582kWh減少しました。
使用電力量の1.3%減は、コロナの影響と全社員の節電効果が表れた結果だと考えられます。

●次年度取組内容

引続き各設備の使用電力量の確認、見直しを行い、無駄な使用エネルギーを削減いたします。

◇ガソリン

- ①エコドライブ（急発進、急加速、アイドリングストップ）
- ②用途に合わせて公共交通機関の優先利用

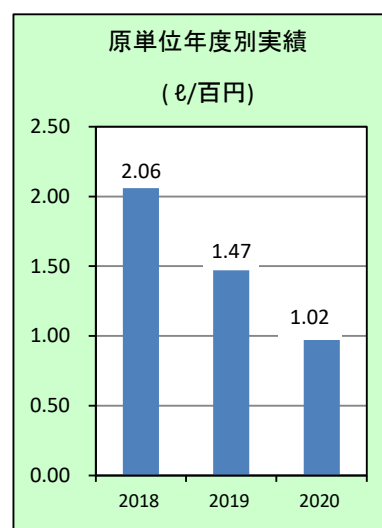
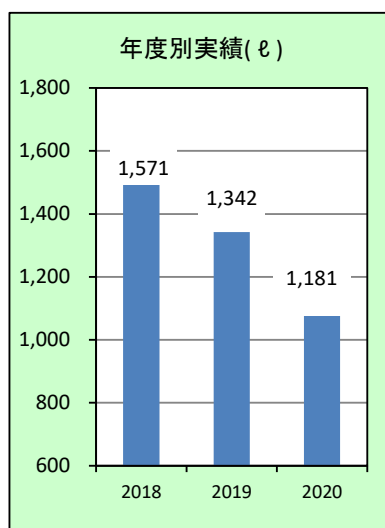
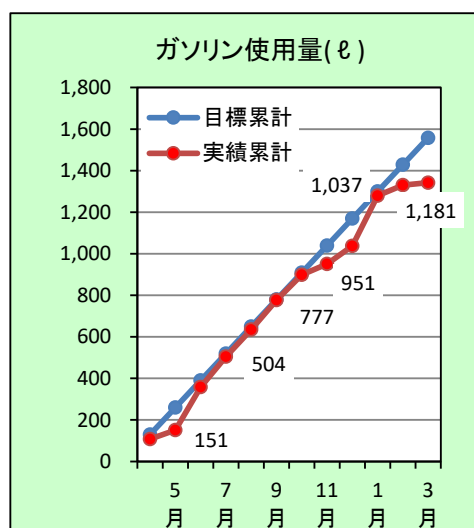


●取組結果とその評価

目標値	実績値
1,329	1,181

(単位：ℓ)

評価＝【 ○ 】 目標値より148ℓ減少



ガソリン使用量は、目標値より148ℓ（12.3ℓ/月）減少しました。
この主な要因は、コロナ過で外注先、お客様先への外出が減りこの結果になりました。

●次年度取組内容

引き続き用途に合わせて公共交通機関の優先利用とエコドライブを推進いたします。

◇オーバーホール

- ①製品のオーバーホール営業活動
- ②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用

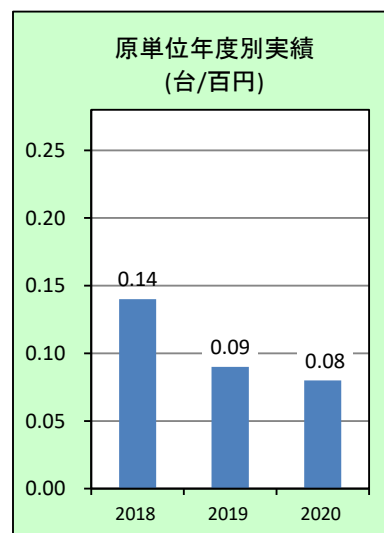
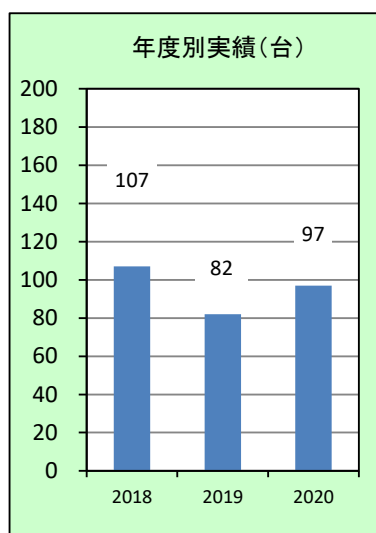
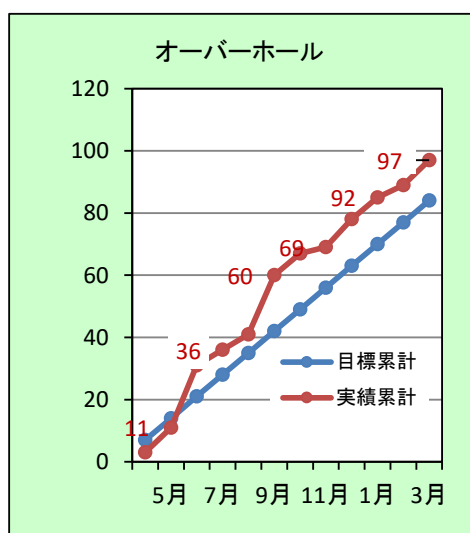


●取組結果とその評価

目標値	実績値
84	97

(単位：台)

評価三【 ○ 】 目標値より13台増加



オーバーホールの受注台数は、目標より13台増加となりました。
西日本で電源盤の更新が有り、オーバーホールで対応したため増加しました。

●次年度取組内容

オーバーホールの受注活動や、経年劣化部品を交換して可能な限り再使用する活動を継続いたします。

(3) 廃棄物排出量の削減

◇不燃・可燃ゴミ

- ① 分別の再徹底
- ② 削減の推進

◇特管産廃一時保管場所

◇一般廃棄物一時保管場所

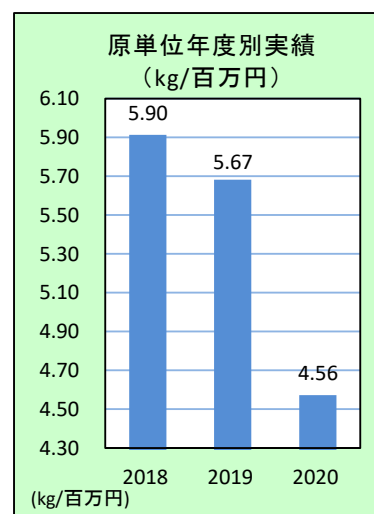
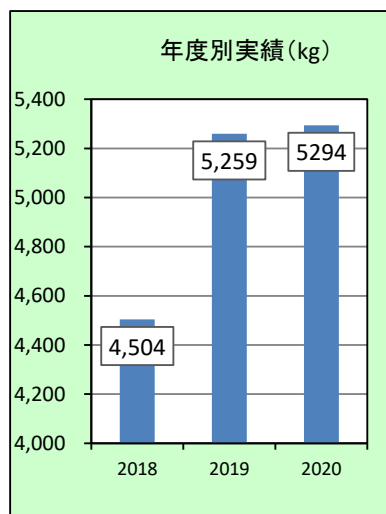
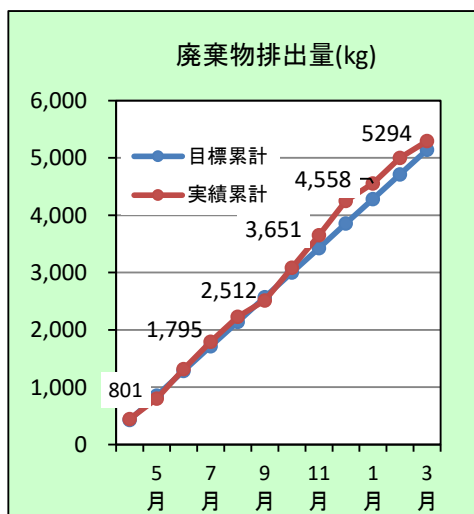


●取組結果とその評価

目標値	実績値
5,143	5,294

(単位：kg)

評価＝【 ○ 】 目標値より151kgやや増加



廃棄物排出量は、目標値より151kgやや増加となりました。
 廃棄物排出量は、生産高（売上）が前年比20%増からすると良しとしたい。

●次年度の取組内容

次年度もゴミ分別の徹底、引き続き購入品の廃棄物排出量削減を推進いたします。

(4) 水使用量の削減

◇水使用量

- ①蛇口付近に節水の表示
- ②生活用水以外は洗車など使用を控える
- ③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減

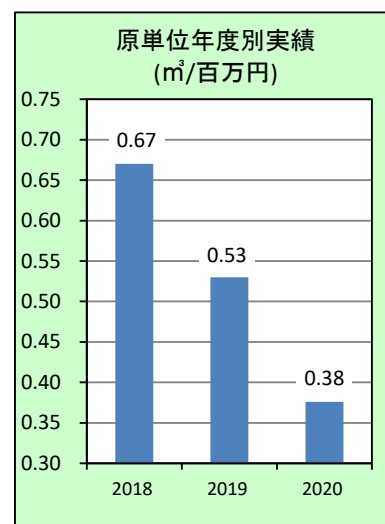
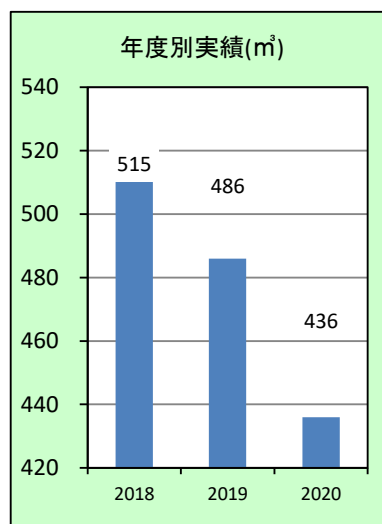
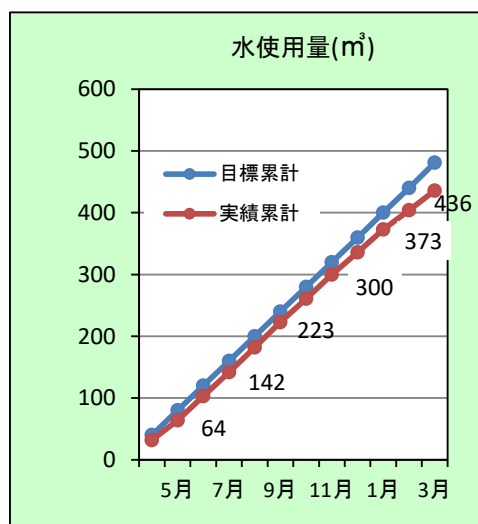


●取組結果とその評価

目標値	実績値
481	436

(単位：m³)

評価＝【 ○ 】 目標値より45m³減少



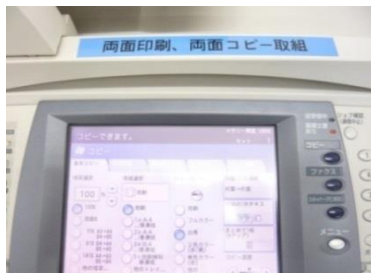
水使用量は、45m³の減少となりました。
この要因は、全社員の節水協力があり減少いたしました。

●次年度の取組内容

必要な生活用水以外、トイレの複数回流しなど使用を控えるように推進いたします。

◇コピー用紙購入量

- ①両面印刷、両面コピーの推進
- ②裏紙の使用

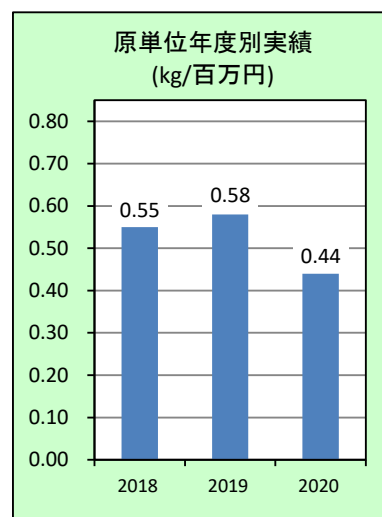
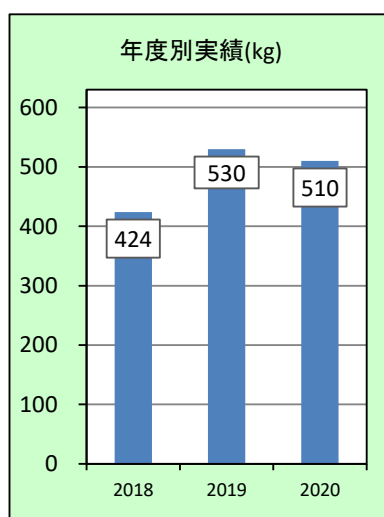
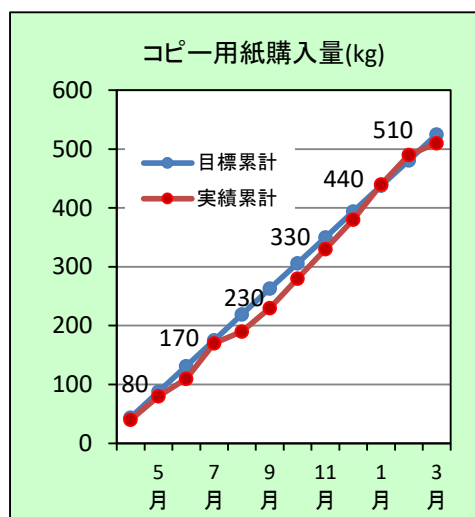


●取組結果とその評価

目標値	実績値
525	510

(単位：kg)

評価＝【 ○ 】 目標値より15kg減少



コピー用紙購入量は、目標値より15kg減少しました。
この要因は、資料などをなるべく印刷を控え電子化に替えた結果によるものです。

●次年度取組内容

前年度同様に文書の電子化、裏紙の使用と両面印刷、両面コピーの取組を推進いたします。

◇梱包材購入量

- ① 梱包材の見直し
- ② 梱包材の再使用、再生利用の推進

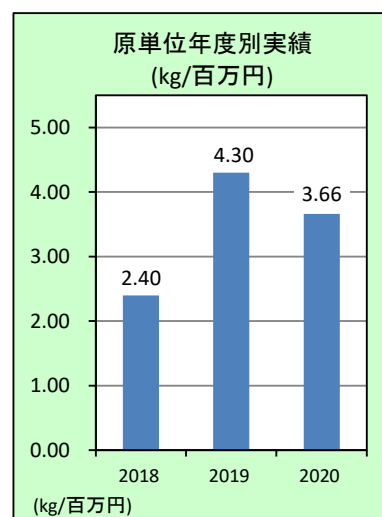
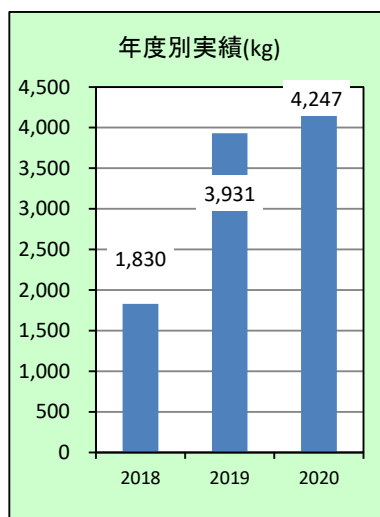
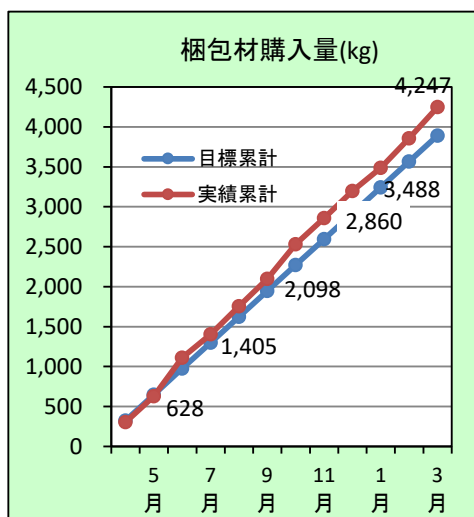


●取組結果とその評価

目標値	実績値
3,892	4,247

(単位：kg)

評価＝【 △ 】 目標値より355kg増加



梱包材購入量は目標値より355kg増加しました。
この要因は生産高（売上）が前年比20%増より製品の梱包材購入量が増す原因となりました。

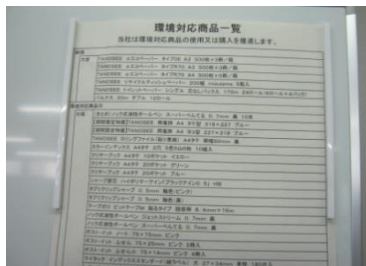
●次年度の取組内容

更に梱包材の見直しや梱包材の再使用、再生利用を推進いたします。

(5) 環境対応品購入

◇環境対応品購入の推進

- ①環境対応品購入の推進
- ②購入品目の拡大
- ③コスト把握で効果を計る



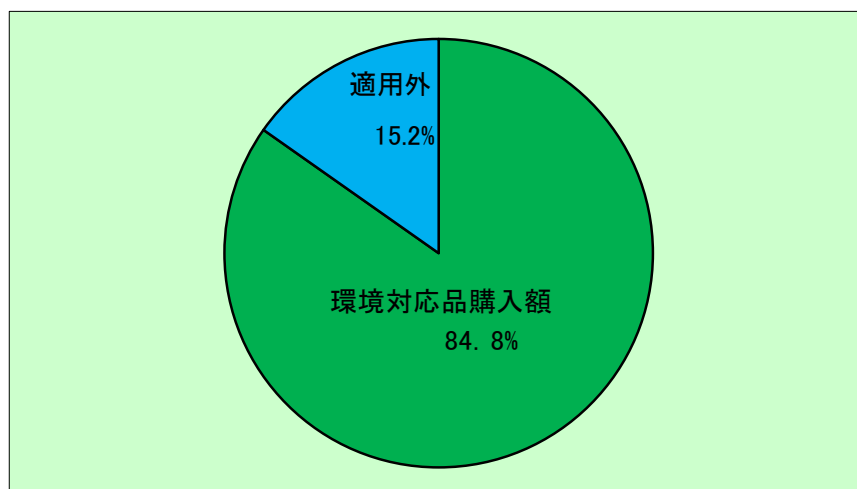
●取組結果とその評価

購入総額	環境対応品購入額
189,000	160,200

(単位：¥)

評価＝【 ○ 】 目標値と同値 (目標値：購入総額の85%以上)

<環境対応品購入比率>



環境対応品購入の推進として、本年度もほぼ目標値の84.8%となりました。購入品目のコスト面もしっかり把握することが出来ました。

●次年度の取組内容

環境対応品購入品目の拡大と除外品の削減に取り組めます。

(6) マテリアルバランス

・インプット

2020年度は、生産量（売上高）が前年比20%増の中でエネルギー使用量を始め全体的に減少する結果となりました。

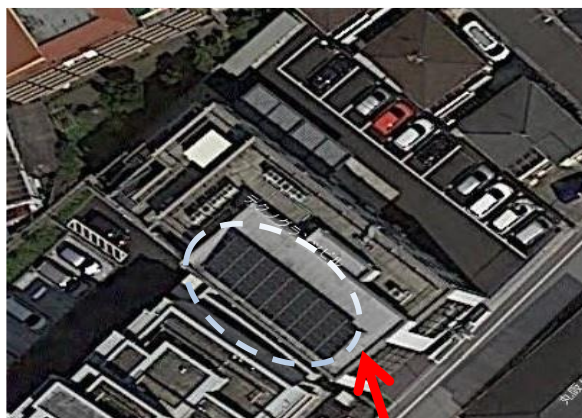
・アウトプット

2020年度の温室効果ガス総排出量は前年度比2.3%の減少となりました。

2020年度のインプット		→	2020年度のアウトプット	
調達材料		受注	製品	
・電子部品 ・機構部品	24,800kg 11,900kg	設計	・電子機器製品	35,700kg
製造調達		購買	廃棄物	
・半田 ・フラックス ・IPA	162.5kg 70kg 176kg	製造	・産業廃棄物(リサイクル) ・金属 ・廃プラ	510kg 1,200kg
紙／梱包材		検査	・特別管理産業廃棄物 (リサイクル) ・廃液 (IPA、フラックス)	249kg
・コピー用紙 ・梱包材 (段ボール)	510kg 4,247kg	事務	・一般廃棄物 ・段ボール ・一般紙 ・空き缶類 ・その他可燃	2,064kg 508kg 85kg 505kg
エネルギー		梱包	CO2排出量	91.6t-CO ₂
・使用電力 ・ガソリン ・太陽光発電	194,447kWh 1,181ℓ 11,805kWh	出荷	排水(生活用水)	436m ³
水(上下)	436m ³	運搬		

(7) その他の取組

◇太陽光発電



弊社ビル屋上へ設置の太陽光パネルです。

2020年度の年間太陽光発電積算量は、11,805kWhとなりました。この数値は4月度の電気使用量と同等の発電量です。少量ながらも温室効果ガスの排出量削減と長期的な発電効果ができました。

◇環境情報の掲示



環境方針、環境目標を掲示



環境目標計測グラフは集計後に貼り換えて掲示

◇地域周辺との環境コミュニケーション活動



近隣の浅川土手沿いのゴミ拾い、美化活動の取組み



地域の防災訓練へ参加

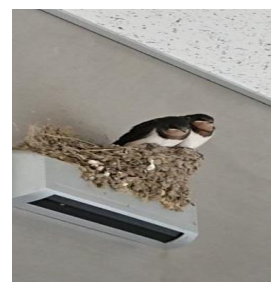
◇環境上の緊急事態の訓練



緊急事態に備えて消火器設置場所等の確認



◇生物の多様性の保全（鳥獣の保護）



ツバメが2羽が無事に巣立ちました

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令・条約等	要求事項	適用施設・物質等	確認日	担当	遵守状況確認	評価
廃棄物処理法	◆保管基準 ・揭示板：60cm角以上 (種類、氏名、連絡先)	(金属、廃プラスチック) ・特別管理産業廃棄物 (IPA<イソフタル酸>鉛半田)	20.09.01	環責	・揭示板 (産廃、特管、保管場所)	○
	・飛散等防止 (飛散、流出、浸透、悪臭)		20.09.01	環責	・飛散等防止 (保管場所)	○
	・衛生管理 (害虫発生防止)		20.09.01	環責	・害虫発生防止 (保管場所)	○
	◆委託契約 ・産業収集、 特別産廃収集運搬業者		20.09.01	環責	・産廃：委託業者と再契約 ・特管：委託業者と継契約	○
	◆特別管理産業廃棄物管理責任者の設置		20.09.01	環責	・特別管理産業廃棄物 管理責任者(受入払出係)	○
	◆マニュアル交付、知事提出、写し保管		20.09.01	環責	・産業廃棄物管理交付等 状況報告書	○
フロン排出抑制法	◆業務用エアコンの簡易点検実施	・エアコン内外機	20.09.01	総務	・定期的に点検	○
東京都環境確保条例	◆工場設置（知事許可） ◆適正管理化学物質	・工場設置許可証 ・適正管理化学物質の使用量 等報告書	20.09.01	総務	・基準遵守	○
東京都火災予防条例	◆指定数量未満の危険物の貯蔵 及び取扱い	・IPA(第4類引火性液体)	20.09.01	環責	・貯蔵所、作業場所で取扱	○
	◆少量危険物貯蔵取扱所の位置、 構造及び設備		20.09.01	環責	・基準遵守	○

(2) 違反、訴訟等の有無

当社が適用する環境関連法規制について、環境マニュアルに規定する「環境関連法規制・条例・その他の規制登録表」により2020年4月1日から2021年3月31日までの状況を確認した結果、関係当局から違反等の指摘は有りませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価

今年度の結果は、売り上げが約20%増加している事を考えると、かなり活動の結果が出ていると判断できる。

廃棄物と梱包材が増加したのは、受注内容に関係しているのではやむを得ない。しかし、電力使用量の削減は受注量増加にもかかわらず、活動の成果として、非常に有意義だったと考える。また、コロナ禍があったとはいえ、ガソリン使用量の減少も活動の成果だと判断でき、最も大切な二酸化炭素排出量が売上増加の中において減少したのは大きな活動成果だと判断する。

次年度の取組

次年度は当社として新しいテクノロジーを盛り込んだ製品を開発しEA21活動と共に進める。2021年度の目標値は前年同様に1%の引き下げとしたが、現実的には今年度と同様になれば、かなりの活動成果になると考える。

本レポートにある各項目の次年度の取り組みを、社内に再度徹底し励行する。

2021年6月1日
株式会社 ヒノックス
代表取締役社長 依田 享

10. 環境情報の開示

2005年度より、当社ホームページで開示。 アドレスは ↓↓

URL: <http://www.hinox.co.jp/ecoaction/>

または、エコアクション21中央事務局ホームページの環境レポートは ↓↓

URL: <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0000404.pdf>

以上